様式-1-2

受付番号：21-a10

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名 成人期扁平足 4 期に対する低位脛骨骨切り術の治療成績
研究計画 (1)背景・意義 成人期扁平足 4 期はまれな疾患であり、それに対する的確な手術方法は確立していない。近年三角靭帯の再建術がいくつか報告されているが、変形が比較的軽度であるにも関わらず、安定した治療成績は得られていない。このためわれわれは 2010 年以降、成人期扁平足 4 期に対して、低位脛骨骨切り術を併用してきた。 (2)目的 成人期扁平足 4 期に対する低位脛骨骨切り術を併用術の治療成績を明らかにすること。 (3)方法 4 期の成人期扁平足に対して、研究責任者が東京警察病院で施行した低位脛骨骨切り術併用術の治療成績・X 線学的評価を、その診療録から後ろ向きに調査する。
個人情報の取り扱い 本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。 なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。
連絡先